

# TOHATSU

# PARTNER

2011年10月1日発行/秋号

# VOL.84



PHOTO:東日本大震災の爪跡(写真提供:古川ポンプ製作所一関支店様)

## CONTENTS

- |  |                                 |
|--|---------------------------------|
| ●東日本大震災 被災地消防団車両等緊急支援 (財)日本消防協会事業 … P2 | ●関西トーハツポンプ会 長崎の雲仙温泉で総会 …………… P6 |
| ●東京商工会議所板橋支部 青年優秀技能者など表彰 …… P3         | ●東北トーハツポンプ会 震災後初の総会 …………… P6    |
| ●駒ヶ根工場が電子申請システム導入一番乗り…………… P3          | ●九州・山口トーハツポンプ会が総会 …………… P6      |
| ●福島県相馬地区 青海苔養殖復活へ …………… P4             | ●十日町市へVC42AS8台納入 …………… P7       |
| ●岩手県久慈市などで16F和船キャラバン …………… P4          | ●松本市へVF53AS搭載積載車5台納入 …………… P7   |
| ●南三陸町志津川漁協へ22F和船納入 …………… P5            | ●富山県朝日町消防団 駒ヶ根工場を見学 …………… P7    |
| ●消防操法大会 各地の結果速報 …………… P5               | ●古川ポンプ製作所一関支店などに感謝状 …………… 裏表紙   |
| ●鳥根県消防操法大会でVC72PRO断トツ …………… P5         | ●スプリンクラー加圧送水装置1号機納入 …………… 裏表紙   |



トーハツ株式会社

<http://www.tohatsu.co.jp>

## ●東日本大震災で被災された皆様へ

東日本大震災に際して謹んで震災のお見舞いを申し上げます。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、現地での甚大な被害によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

被災地の一刻も早い復興ができますよう、心よりお祈り申し上げます。

# 東日本大震災 被災地消防団車両等緊急支援 (財)日本消防協会事業

東日本大震災後の東北・関東沿岸部の消防団では、この度の津波被害などによる消防車両等の被害をうけ被災地の消防力低下が懸念されていることから、総務省消防庁の協力の下、(財)日本消防協会より依頼し、全国の消防団・消防本部から協力を得て、小型動力ポンプ付積載車や消防車両などを取りまとめ、被災地に贈ることになりました。

トーハツではこの被災地緊急支援事業を受け、関係各社と連携し全国の消防団・消防本部から提供して頂いた小型動力ポンプ付積載車、小型動力ポンプ付台車、小型動力ポンプ、消防ポンプ自動車の点検・整備と各被災地の消防団への配送を実施させて頂きました。

未だ無残な津波の爪跡が残る宮城県気仙沼市の消防本部では、去る5月13日、同消防協会、総務省消防庁など多数の支援団体の代表者及び市長が出席して、寄贈式が執り行われました。これを皮切りに、岩手県、宮城県、福島県などに順次寄贈されます。

この度ご協力頂いた関連企業は次の通りです。

### ●譲渡先消防団名

岩手県：釜石市消防団／宮城県：女川町消防団／宮城県：塩竈市浦戸消防団／宮城県：気仙沼市消防団／宮城県：山元町消防団／福島県：新地町消防団／宮城県：石巻市杜鹿消防団／宮城県：石巻市河北消防団／宮城県：石巻市石巻消防団／宮城県：石巻市北上消防団／宮城県：石巻市雄勝消防団／宮城県：大郷町消防団／宮城県：東松島市消防団／宮城県：南三陸町消防団／宮城県：亶理町消防団／岩手県：宮古市消防団／岩手県：山田町消防団／岩手県：大槌町消防団／岩手県：陸前高田市消防団

### ●提供元消防団(本部)等

奈良県：奈良市消防局／茨城県：常陸太田市消防団／大阪府：藤井寺市消防団／東京都：荻窪消防団／新潟県：南魚沼市消防団／岐阜県：山県市消防団／新潟県：上越市消防団／東京都：城東消防団／東京都：金町消防団／東京都：蒲田消防団／東京都：石神井消防団／高知県：梶原消防団／群馬県：高崎市消防団／茨城県：常総市消防団／東京都：深川消防団／日本消防協会(愛知県大府市)／日本消防協会(茨城県つくばみらい市)／岡山県：笠岡市消防団／広島県：呉市消防団／群馬県：高山村消防団／長崎県：長崎市消防団／宮崎県：宮崎市消防局／愛媛県：松山市消防団／新潟県：糸魚川市消防団／神奈川県：秦野市消防団／栃木県：西方町消防団／山口県：美祢市消防団／大阪府：和泉市消防団／北海道：日高消防団／熊本県：熊本市消防団／愛知県：新城市消防団／埼玉県：川口市消防団／新潟県：村上市消防団／広島県：東広島市消防団／長崎県：雲仙市消防団／広島県：江田島市消防団／大分県：中津市消防団／奈良県：宇陀市消防団・菟田野消防団／新潟県：見附市消防団／群馬県：渋川市消防団／山梨県：南アルプス市消防団／東京都：あきる野市消防団／京都府：伊根町消防団／兵庫県：宍粟市消防団／佐賀県：小城市消防団／広島県：安芸高田市消防団／佐賀県：伊万里市消防団／鳥取県：倉吉市消防団／長野県：佐久穂町消防団／東京都：新宿消防団／兵庫県：淡路市消防団／静岡県：藤枝市消防団／京都府：南丹市消防団／愛知県：豊橋市消防団／東京都：目黒消防団／栃木県：佐野市消防団・日光市消防本部／岩手県：奥州市消防団／岩手県：二戸市消防団／岩手県：九戸村消防団／青森県：八戸市消防団／岩手県：普代村消防団／岩手県：葛巻町消防団／岩手県：岩手町消防団／青森県：東通村消防団／北海道：富良野広域連合富良野消防団／岩手県：紫波町消防団／岩手県：久慈市消防団／岩手県：一関市消防団／岩手県：八幡平市消防団／秋田県：由利本荘市消防団／埼玉県：鴻巣市消防団 (敬称略)

### ●協力会社:

日産自動車株式会社、宮城日産自動車株式会社、福島日産自動車株式会社、静岡いすゞ自動車株式会社、盛岡いすゞモーター株式会社、株式会社ゼロ、行政書士K&F事務所、株式会社ケイショウ車体、株式会社キャリメイト、トーハツ県南サービス株式会社、合資会社古川ポンプ製作所、帝国繊維株式会社、株式会社吉田商会、桜ハウス株式会社、株式会社マキタ沼津、株式会社IHシバウラ、株式会社パトライト、株式会社ウスイ消防、三重保安商事株式会社、株式会社アルプスカーモーター (敬称略)

(防災営業部／志津川)



# トーハツ 桑澤・米山の両氏が 晴れの受賞

東京商工会議所板橋支部  
青年優秀技能者・技術者表彰



(左から)金子社長、桑澤さん、米山さん、矢内取締役

東京商工会議所板橋支部(会長／齊藤 裕氏)による平成23年新年賀詞交歓会が、今年も東京・池袋にあるホテルメトロポリタンで開催されました。

同交歓会は、板橋区内の産業人による人的交流の場として年々盛会を極めている一方で、区内の若い技術者などの人材育成にも力を入れています。第4回を迎えたこの度の「青年優秀技能者・技術者表彰」では、トーハツ駒ヶ根工場の桑澤 克彦、同技術部の米山 健の両氏がめでたく受賞。板橋区の青年優秀技能者・技術者の栄誉に輝きました。



受賞した(左から)桑澤さん、米山さん

表彰された両氏は、防災に欠かせない可搬消防ポンプの製造・開発に携わっており、高品質の製品を供給すべく日々研鑽に努めています。今後も板橋区の産業基盤を支える後継者の一人として一層の技術向上を目指して頂きたいものです。

閉会后、受賞した桑澤氏／米山氏の両氏は、トーハツ

金子社長や矢内取締役らと共に記念撮影。喜びを噛みしめていました。この度の受賞、誠にありがとうございます。

(総務部／千葉)

## トーハツ駒ヶ根工場 「受託個別試験電子申請システム」一番乗り

日本消防検定協会では、平成22年12月より可搬ポンプなどの受託個別試験の申請等をインターネット上でできる電子申請システムの運用を開始されました。

このシステムは、申請書類作成やデータ登録の容易化に加え、データ保全の確実性が得られるなど画期的なものです。トーハツ駒ヶ根工場では、この電子システムを導入すべく日本消防検定協会の説明会に積極的に参加。そして今年5月、他社に先駆けてこの電子システムを採用。可搬消防ポンプ業界における「導入一番乗り」を果たしました。

導入

トーハツがこの電子システムをいち早く導入したことで、同業界全体への浸透がスピードアップ。今後は申請時における効率化が、より一層図られるものと期待しています。



(駒ヶ根工場品質管理課／羽生)



# 水没船外機の復活を支援 福島県相馬地区 青海苔養殖復活へ

3月11日午後  
2時46分発生し  
た東日本大震災。  
“野馬追い祭り”  
で知られる福島県



相馬市では、行方不明者を含む死者459名、津波による家屋等の流出が1000棟を超えるなど、人的・物的にも甚大な被害を受けました。

震災前、相馬港にはトーハツ船外機が約300台保有され、「江戸むらさき」でおなじみの某大手佃煮メーカーへ、青海苔を一手に供給する青海苔の養殖市場でした。現在では殆どの養殖施設は崩壊、船外機も船と共に水没してしまいました。

生活・職業空間が失われてしまった今、同市の基幹産業であった漁業を復活させることは、現地被災者の方々の人生設計の基盤となります。トーハツでは、震災直後から販売店の(有)イーストマリンサービスと連携し、県漁連や漁協へ働きかけ、船外機の供給をはじめ復興に即した活動を支援してきました。

震災直後、今年の青海苔養殖は見送らざるを得ないと言うのが大方の見方でしたが、同市の持つパワーによりこ

の9月には青海苔の種付け作業が始まりました。トーハツでは、相馬の海で復興する青海苔養殖の再開にあわせ、9月から10月まで技術部から人員を派遣し、水没船外機の再生、4スト船外機への更新に伴う取扱い指導など、現地に密着した支援活動を実施。お世話になった同市の青海苔養殖市場が、一刻も早く再構築するよう今後とも応援してまいります。

(マリン東北／木村)



# 一日も早く漁に出たい! 漁師さんの悲痛な叫びを背に 16F和船キャラバン

岩手県北部の久慈市から宮古市にかけては、アワビ・ワカメ漁がとりわけ盛んな地域で、震災前には16Fの和船を中心に約1500～2000隻が存在しました。3月11日、あの恐ろしい大震災による津波に、その殆どの和船が失われました。

この程、トーハツでは(株)エイワとタイアップし16F和船を市場に投入しました。一日でも早い漁の再開を待ち望んでいる同地区漁協を中心に販売店と連携し、キャラバンを展開しました。漁師さんたちからは、海に一日でも早く出たい! そのためには早く船とエンジンを供給して欲しい、といった強い要望を受けました。全てを失った辛い状況下にもかかわらず復興への前向きな姿勢と熱意に感銘。メーカーとして一刻も早い商品供給が、復興への一助になると強く感じました。

今回のキャラバンでは、田老漁協さんを中心に全体で約350隻を受注。また船外機もMFS8Aの250台をはじめ、多くの受注を頂きました。今後は一日も早い復興を願い、フル生産体制で商品供給を行ってまいります。どうぞご期待下さい。

(マリン東北／木村)



# 優勝準優勝を浜田市内消防団が独占 島根県消防操法大会 V C 7 2 P R O 断トツ



# 北海道から 南三陸町志津川漁協へ 復興のための22F和船納入



三方を山々に囲まれ、沿岸部はリアス式海岸特有の変化に富んだ景観と、ワカメ、牡蠣養殖、アワビ漁など盛んな岩手県南三陸町は、この度の東日本大震災では、津波により981名の死者・行方不明者を出すなど、壊滅的な被害を受けられました。にもかかわらず現地漁協関係者による復興への動きは速く、震災2ヵ月後には漁に出るための準備作業が進められている程です。

トーハツでは地元販売店の(有)今野鉄工所と共

に志津川漁協を訪問。復興対策の検討を重ねてきましたが、11月から始まるアワビ漁に向け22F和船を12隻準備することで合意。この程その第一弾として北海道松前郡福島町にある小笠原造船所から、社長自らトラックを運転して南三陸町入り。地元漁協関係者が待ち受ける中、初回分として2隻が納入されました。今後は10月までに、更に10隻の納入が予定されています。

(マリン東北/木村)



第55回を迎えた島根県消防操法大会が、去る8月7日、浜田市にある島根県立大学のグラウンドで開催され、トーハツ「VC72PRO」が断トツの強みを発揮。優勝チーム、準優勝チームに貢献しました。

今大会には可搬ポンプの部が23チーム、自動車ポンプの部には13チームの消防団が出場。各地区消防団とも、前日のポンプ機器材の点検時から既に緊張感が伝わってくる程の入れ込みよう。翌日は猛暑にも関わらず文字通り好プレーが続出。日頃の訓練成果を発揮する消防団員の姿が、とりわけ印象的でした。

さて、気になる可搬ポンプの部の成績は、一歩も譲らぬ接戦を見事制したのが浜田市消防団浜田消防隊の皆さん。また準優勝は同じく浜田市消防団三隅消防隊の皆さんでした。しかも優勝した同浜田消防隊がVC72PRO、準優勝の同三隅消防隊がVC72PRO IIを使用しての栄冠。トーハツにとっては、まさに喜びもダブルです。両チームの皆さん本当におめでとうございました。

(防災関西/田村)



## 消防操法大会 各地大会の結果

頑張れ消防団!

速報

各地の都道府県では、この時期、猛暑にめげず消防団員による消防操法大会が行われています。小誌でも過去に同大会の詳細を度々伝えてきましたが、そこで「消防操法大会」とは一体どのような競技なのか、ご存知の方は多いと思いますが簡単に触れてみましょう。

まず消防用語とでも言える「操法」とは、消防団員が迅速かつ安全に消火活動を行えるよう訓練上の基本動作を意味しています。具体的に言いますと、1チームは4人編成。消火への初動作開始からエンジン始動、ホースの延長、放水、そして的(消火ポイント)を射るまでの訓練マニュアルに沿った正しい規律と速さ(タイム)を実践で競う競技です。

また各都道府県別に実施されている消防操法大会は、夏の高校野球に例えればいわば甲子園出場をかけた県大会予選と言えるものです。来年は全国大会が予定され、消防団日本一が決まります。

そして今、各地操法大会の情報がトーハツの地域担当者から続々着信。結果は次の通りです。優勝おめでとうございます。

トーハツ一同、精一杯応援させていただきます。

### ●第46回滋賀県操法大会

優 勝:野洲市消防団(VCPRO)  
準優勝:長浜市消防団(VCPRO)  
3 位:湖南市消防団

### ●第55回島根県操法大会

優 勝:浜田市消防団浜田消防隊(VCPRO)  
準優勝:浜田市消防団三隅消防隊(VCPRO II)  
3 位:松江市消防団

### ●第62回新潟県操法大会

優 勝:十日町市消防団中里方面隊(VCPRO II)  
準優勝:聖籠町消防団  
3 位:佐渡市消防団南佐渡方面隊(VCPRO II)

### ●平成23年度北海道操法訓練大会

優 勝:留萌消防組合小平消防団  
準優勝:南十勝消防事務組合中札内消防団(VC72PRO II)  
3 位:西胆振消防組合伊達消防団(VC72PRO II)  
3 位:深川地区消防組合秩父別消防団

\*カッコ内は使用ポンプ名です。

(防災営業部/手島)



## 震災以降の 防災機器需要動向を注視

# 関西トーハツポンプ会 長崎・雲仙温泉で総会

関西トーハツポンプ会が、去る6月2日・3日、避暑地の爽やかな風に包まれた長崎県雲仙温泉の東園で開催されました。

冒頭、執行部の任期満了に伴う役員改選が行われ、新たに宮前会長、海老子副会長が選任され、新年度がスタートしました。新会長は就任挨拶の中で、大震災以降の防災意識の高まりを追い風に、需要動向を注視しながら迅速に対応しよう、と意欲を示しました。

一方、ポンプ会の中では全国の原子力発電所の安全対策のためポンプを納入している経緯などもあり、原発への拡販に向けた需要動向に話題が集中していました。

恒例の総会後の懇親会では大いに盛り上がり、そのまま二次会へ。また翌日は長崎市内を観光。出島、グラバー園と巡り、最後は中華街で本場の味を満喫して散会しました。会員の皆様には、遠方よりご参加頂き大変お疲れ様でした。

(防災関西／田村)



## 震災犠牲者に全員で黙祷 東北トーハツポンプ会 東日本大震災後初の総会



3月11日発生した東日本大震災に伴い延期されていた平成23年度東北トーハツポンプ会が、去る7月26日、仙台市の秋保温泉“ホテル佐勘”で開催されました。この度の震災では一般市民をはじめ、各自治体職員、消防団員など、大勢の尊い命を失いました。冒頭、これら犠牲者のご冥福を祈り全員で黙祷を捧げました。

第一部総会は鳴海会長の挨拶の後、前年度の決算報告及び活動報告を行い、全会一致で承認されました。また任期満了に伴う役員改選では、新役員に平間会長、高橋副会長、櫻井監査役の三役を選任して第一部を終了。引き続き第二部のポンプ会へと移りました。

第二部開会にあたり登壇した平間新会長は、全国から寄せられた義援金に感謝の意を述べると共に、復興への力強い意気込み、更に新年度のポンプ会運営にも固い決意を示されました。この後、昨年度の拡販コンクールで優秀な成績を達成した特約販売店の表彰式を行い、総会は明るいムードに包まれていました。

一方、この度の震災により様々な形で影響を受けられた各会員諸氏からは、その後の被災地の近況や地元自治体の動きなどが報告されました。とりわけ原発問題を抱える福島県下の販売店からは、避難者の方々の先の見えない窮状が報告され、政府の早急な判断と対応を求める意見が噴出しました。

総会終了後の親睦会では、同ポンプ会の更なる発展を誓い大いに盛り上がり、翌日散会しました。震災後の多忙な時期にご参加頂きまして大変有難うございました。

(防災東北／中島)

## 被災した東北ブロック特約販売店に義援金 九州・山口トーハツポンプ会が総会

平成23年度九州・山口トーハツポンプ会総会が、去る4月11日・12日の両日、福岡市内の“ホテルオークラ福岡”で開催されました。この日は、東日本大震災発生からちょうど一ヶ月。冒頭、亡くなられた方々のご冥福を祈り、全員黙祷をささげました。

総会では、西銘会長をはじめトーハツ金子社長から震災による様々な被害の状況が報告されたほか、同会会員の総意により被災された東北ブロックの特約販売店には義援金を贈ることを決定。一刻も早い復興を願いました。

一方、質疑応答では、4ストロークポンプの仕様の向上やVC72PROIIの話題で論議が交わされ、今後も大いに関心を集めそうです。

恒例の夜の懇親会では、いつもの和やかムードで歓談。また翌日は「ザ・クイーンズヒルゴルフクラブ」で思いっきりプレーを楽しみ、明日への活力を養いました。会員の皆様には、遠路ご出席賜り誠に有難うございました。

(防災九州／田中)

新潟県の十日町市へ、去る8月26日、「VC42AS」2ストロークポンプ8台が地元販売店の船山(株)／(株)大昭商事の2社を通して納入されました。

これに伴うポンプ配備式には、同市の消防職員をはじめ消防団員など多数の関係者が出席。取扱い方法、保管時の注意事項などの説明の後、消防団員が見守る中テスト放水が実施され、始動性能やエンジン音の静粛性などに感嘆の声が聞かれました。納入された消

防ポンプは式終了後、同市内の各地域消防団に配備されました。

この度の納入に際しまして、トーハツポンプをご採用頂きました十日町市、また販売にご尽力頂いた船山(株)様、並びに(株)大昭商事様には改めて厚くお礼申し上げます。

(防災中央／高橋)



## 新潟県十日町市へ VC42AS 8台を納入

## 長野県松本市へ VF53AS搭載の普通積 載車5台納入

このほど長野県松本市へ、4ストロークポンプ「VF53AS」搭載の普通積載車5台が納入され、その配備式が同市消防職員・消防団員など多数出席の下、行われました。

式典後はポンプ・積載車の取扱い説明やテスト運転などが実施され、運転に立ち会った消防団員などから、2ストロークポンプにくらべ白煙や騒音が格段に少ない、などと高い評価を頂きました。これからの地域防災に頼れる存在になりそうです。

トーハツポンプをご採用頂きました松本市、また販売にご尽力頂きました(株)小林ポンプ防災様及び(有)松本中信防災様には、改めて厚くお礼申し上げます。(防災中央／高橋)



\*写真提供:(株)市民タイムス



## 富山県の朝日町消防団 駒ヶ根工場を見学

富山県の朝日町消防団のご一行が、去る8月26日、駒ヶ根工場を訪れました。朝日町は富山県と新潟県の県境に位置し、北アルプスの山々を背に日本海に臨む美しい町です。

ご一行が到着するころには、夜来の雨も上がり、ますますの見学日より。歓迎セレモニーの後、早速ポンプ製造施設に移動。VCシリーズの組立工程などを見学しました。この後、咲き誇るお花畑のように並んだ検定待ちの消防ポンプをバックに記念撮影。次の施設を見た後、屋外でVF53AS-Tの放水デモをご覧頂きましたが、さすが消防のベテランだけあって皆さんエンジン音の静粛性に感嘆。トーハツ技術の信頼性を大いにご理解頂けたと思います。

この後ご一行は、工場職員と可搬ポンプなどについて歓談。全日程を終えて帰路に着きました。朝日町消防団員の皆さん遠路ご来場頂きまして有難うございました。

(防災中部／福田)



## 古川ポンプ製作所一関支店と 支店長のお孫さんに

# 一関市消防本部から感謝状

先の東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県下で、トーハツポンプ販売代理店を営む古川ポンプ製作所一関支店と支店長の氏家英二氏のお孫さんが、去る3月12日発生した同支店近くのアパート火災で、被害を最小限に食い止めたとして、7月12日に一関市消防本部からツインで感謝状が贈られました。



感謝状が贈られた(左から)阿部係長、氏家支店長、俊祐さん

感謝状を贈られたのは、同ポンプ製作所と同社支店長のお孫さん氏家俊祐さん(15)で、俊祐さんは一関学院高の一年生。火災が発生した3月12日午前8時30分頃、同ポンプ製作所の従業員5人が近くのアパートから煙が出ているのを発見。すぐ119番に通報。これに気づいた孫の俊祐さんは、いち早く倉庫から消火器を取り出し夢中で消火作業。火災を最小限に食い止める大手柄でした。

一関消防本部の贈呈式に出席したのは、同ポンプ製作所一関支店長の氏家英二氏、孫の俊祐さん、同社の阿部係長の3名。受賞後氏家支店長は「従業員一丸となって冷静に初期消火を行うことができた。微力ではあるが、これからも市民の安心・安全の一助になれば」と述べ、孫の俊祐さんの活躍に目を細めていました。

(防災営業部／志津川)

## 停電時でも即作動！

# 水道連結型スプリンクラー 加圧送水装置1号機 納入

東京・日野市にあるグループホーム“しらかば”に、この春トーハツが開発した「特定施設水道連結型スプリンクラー加圧送水装置GH140AM」の1号機が、このほど特約販売店・東京物産(株)を通して納入されました。

同グループホームが、この装置を採用した一番の理由に、停電時でも送水可能なメリットを挙げ、安心へ“一歩ならぬ数歩前進”と言ったところ。設置後の試運転も良好で、日野消防署による立会い検査も無事終了。いま、昼夜を問わず24時間、グループホーム居住者の“安心・安全”を見守っています。

納入にご尽力頂いた東京物産(株)様には、厚くお礼申し上げます。

(防災営業部／小鷹)



## 発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢3-5-4

TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-0090

トーハツ株式会社

トーハツパートナー編集局

編集兼発行責任者 日向 勇美／青山 滋